

# オーガニックに商機

## イーサポートリンクなど出展

都内で展示会



「オーガニック」をキーワードに心地良いライフスタイルを提案する第2回「オーガニックライフスタイルEXPO」が、2日間にわたり東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された。主催はオーガニックフオー

ラムジャパン。オーガニックの裾野を広げることとを目的とし、消費者も多く来場した。175社が出展（食品関係は67社）し、ローソンなどの小売企業をはじめ、宅配サービス、商社などのほか、生鮮青果物流通システム

を扱うイーサポートリンクも。それぞれオーガニックに商機を見出していることがうかがえる。

ローソンは、ローソンファームの農産物やナチュラルローソンで販売する健康食品、持続可能な農園経営の認証「レイソレストアライアンス」を取得した農園で栽培したコーヒー豆を原料にしたコーヒーなどを紹介した。このうちローソンファームは現在23か所あり、このうち1か所（広島県）で有機JAS認証を取得。同農場の農産物はローソンのネットスーパー「ローソンプレッシュ」で販売する。その他の農場では中嶋農法で栽培。土壌分析に基づいてミネラルを投入し、理想的な土壌で栽培する。これらの農場で生産した野菜はカット野菜やコンビニの弁当の原材料などに使用される。

また、小売では、池袋青果などを展開する池菜グループのこだわりやが初出展。首都圏中心に有機農産物や加工品などを扱う店を37店展開する。「20〜40代の若い世代に来店してほしい」と、若年層の来場が多い同EXPOへの出展を決めた。野菜は有機栽培や特別栽培のもので、西洋野菜の「スイスチャード」や生食できるカボチャ「コリンキー」、白色粒のトウモロコシなど、また一般的にはあまり知られていない野菜も紹介し、注目を集めた。

一方、イーサポートリンクはこのほど子会社化した有機農産物や特別栽培農産物などの卸販売を行うオーガニックパートナーズとその直営農場・シェアガーデンとともに出展。千葉県八街市にあるシェアガーデンの圃場で生産したトマトなどの野菜や加工品を紹介した。シェアガーデンでは2か所4畝の圃場を有し、オーガニックパートナーズは全国の量販店や自然食品店、外食チェーンなどにシェアガーデン産を含めた産地・生産者から調達した野菜などを供給する。

さらに、イーサポートリンクでは生産者向けのシステム「農場物語」を紹介。これまでの栽培計画管理や栽培実績管理、使用農薬のチェックなどの機能に加え、作業管理・指示機能、コスト管理機能、出荷管理機能などがプラスされた。今秋には日々の作業を記録するだけでGAP取得に必要な提出書類を作成できるサービスを提供する予定。オーガニックパートナーズでは取引産地に紹介していく。